

地域型住宅グリーン化事業

概要

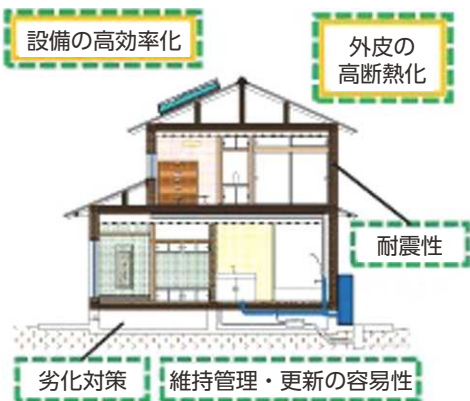
省エネルギー性能や耐久性などに優れた木造住宅・建築物に取り組む民間事業者などを通じて補助が行われます。国土交通省が、流通事業者、建築士、中小工務店などのグループによる「『地域型住宅』生産の基本方針」および「『地域型住宅』生産の共通ルール」に関する提案を募集し、優れた提案を採択します。採択されたグループに所属する中小工務店が供給する、木造の長期優良住宅やZEHなどに対して補助を行います。

このような住宅が対象です

補助対象

- ▶ ZEH、Nearly ZEH
Nearly ZEHは寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る
 - ▶ 認定長期優良住宅
 - ▶ 認定低炭素住宅
 - ▶ ZEH Oriented
ZEH Orientedは都市部狭小地および多雪地域により太陽光発電装置の設置ができない場合に限る
- ※土砂災害特別警戒区域は補助対象外。

補助対象(住宅)のイメージ



これだけお得です

補助限度額

- ▶ ZEH、Nearly ZEH: **140万円**/戸(125万円/戸)
Nearly ZEHは寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る
 - ▶ 認定長期優良住宅: **140万円**/戸(125万円/戸)
 - ▶ 認定低炭素住宅: **125万円**/戸(110万円/戸)
 - ▶ ZEH Oriented: **125万円**/戸(110万円/戸)
ZEH Orientedは都市部狭小地および多雪地域により太陽光発電装置の設置ができない場合に限る
- 注:()内の補助限度額は4戸以上の施工経験を有する事業者の場合

加算措置

- ▶ 地域材等加算
 - ・主要構造部材(柱・梁・桁・土台)の全てに地域材を使用する場合:**30万円**/戸を限度に加算
 - ・主要構造部材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する場合:**20万円**/戸を限度に加算
 - ・地域の伝統的な建築技術の継承に資する住宅とする場合:**20万円**/戸を限度に加算
- ▶ 三世同居/若者・子育て世帯加算(以下のいずれか)
 - ・玄関・キッチン・浴室またはトイレのうちいずれか2つ以上を複数箇所設置する場合:**30万円**/戸を限度に加算
 - ・40歳未満の世帯または18歳未満の子を有する世帯の場合:**30万円**/戸を限度に加算
- ▶ バリアフリー加算
 - ・バリアフリー対策を講じる場合:**30万円**/戸を限度に加算
- ▶ 複数の加算措置に対応する場合:上限**60万円**/戸

出典:国土交通省資料

2023年2月末時点の情報で、内容が変更になる場合があります。

長寿命・省エネ住宅の優れた提案に対し補助

地域型住宅グリーン化事業とは

地域における木造住宅生産体制を強化し、環境負荷の低減を図るため中小住宅生産者等が他の中小住宅生産者や木材、建材流通等の関連事業者とともに連携体制(グループ)を構築して省エネルギー性能や耐久性等に優れた木造住宅・木造建築物の整備やこれと併せて行う三世帯同居や若者・子育て世帯への対応、バリアフリーへの対応に対して支援を行います。

- (1) 地域の中小住宅生産者等が供給する住宅に関する消費者の信頼性の向上
- (2) 関連産業の多い、地域の木造住宅市場の振興による地域経済の活性化
- (3) 地域の住文化の継承及び街並みの整備
- (4) 地域の林業・木材産業関連事業者と住宅生産関連事業者との連携構築を通じた、木材自給率の向上及び森林・林業の再生
- (5) 住宅の省エネルギー化に向けた技術力の向上
- (6) 子育てを家族で支え合える三世帯同居など複数世帯の同居がしやすい環境づくり

を目指すものです。

交付申請等は、国が行う事業に応募し、採択通知書を受けているグループ構成員が対象で、事業の採択通知書を受けていないグループ構成員は申請ができません。

安定的な木材確保も支援

安定的な木材確保に資する先導的な取り組みの検討などを行うおとする事業者に対しても支援を行います。

補助対象	補助率	補助限度額
体制整備に係る費用	定額等※	1,000万円
システム開発に係る費用	1/2	1,000万円

※既存システム等の導入は補助率1/2。

提案できるTDYの主要商品



システムバス



高断熱浴槽



節湯水栓



耐震ボード



窓



玄関ドア



玄関引戸

制度の詳細 地域型住宅グリーン化事業
<http://chiiki-grn.jp/>



省エネ・断熱

バリアフリー

耐震

省エネ基準

長期優良

低炭素

ZEH